

4月7日（金）の発表

報道発表資料配付日時 4月7日(金)12:00

発表項目 (行事名)	日本水大賞 厚生労働大臣賞の受賞について
概要	<p>北海道立総合研究機構では、北海道の農山漁村に数多くみられる地元管理型の小規模水道を、地域生活を支える重要インフラと捉えて調査研究を行ってきました。さらに、実践的な取り組みとして、2017年からは北海道富良野高等学校と、2022年からは北海道富川高等学校と共に、地元高校と連携した地域による水インフラ管理体制づくりを行ってきました。</p> <p>このたび、北海道富良野高等学校、北海道富川高等学校、白石航希氏（個人）との協働による活動「地域の水は自分たちで守る 地域ぐるみの水道維持管理支援」が、日本水大賞 厚生労働大臣賞を受賞することとなりました。2023年6月13日には、日本科学未来館にて表彰式が行われる予定です、</p>
参考	

報道（取材）に 当たっての お願い	多くの皆様に大臣賞を受賞した活動について知っていただけるよう、北方建築総合研究所（旭川）にて取材を承ります。	
他のクラブ との関係		
担当 (連絡先)	<p>(地独) 北海道立総合研究機構建築研究本部 地域研究部地域システムG (担当：牛島) TEL:0166-66-4231 企画調整部企画課 (担当：堤、中田) TEL:0166-66-4216 FAX:0166-66-4215 E-mail : nrb@hro.or.jp</p>	

「地域の水は自分たちで守る 地域ぐるみの水道維持管理支援」

活動主体：富良野高校／富川高校／北海道立総合研究機構／白石航希

地域住民が誇りを持って主体的に管理する小規模水道

課題は

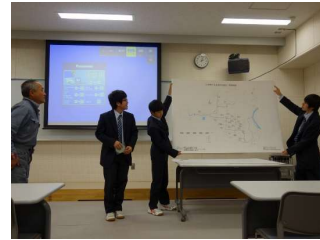
※少なく見積もっても道内270箇所以上

- ・管路がどこに埋まっているかは“記憶”が頼り
- ・何年も水質検査していない場合もある
- ・他地区との協力関係はあまりない



地元高校生が何かできないか？

- ・管路情報のデジタルマップ化(GIS)
- ・簡易の水質分析
- ・成果報告会(他地区との交流)

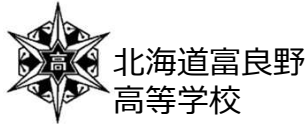


➡ 地域住民の誇りを次世代につなぐ
高校生は地域の即戦力として手応えを実感

富良野モデル

富良野高校科学部の部活として実施(2017年～)

<活動主体>



<協力>



厚生労働科研「小規模水供給システムの持続可能な維持管理に関する統合的研究」



展開

日高町(富川高校)での活動

富川高校に展開、「総合的な探究の時間」の授業として実施(2022年～)

<活動主体>



白石航希
(個人)

<協力>

